

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>1 学校教育目標</p>   | <p>校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。<br/>                 実践項目 (1) 基礎学力の定着 (2) さわやかな挨拶の励行<br/>                 (3) 部活動の充実 (4) 環境美化の推進</p>   |  |
| <p>2 評価する領域・分野</p>  | <p>◇学習指導</p>   |  |
| <p>3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等</p>   | <p>・生徒、保護者の約8割以上が、各教科の習熟度別授業や少人数授業が、学習の理解につながっていると回答しており、現在実施している授業形態が受け入れられ、基礎学力の定着には有効であると考えている。</p>   |  |
| <p>4 今年度の具体的かつ明確な重点目標</p>   | <p>◇基礎学力の定着<br/>                 ◇個々の生徒の学力伸長</p>   |  |
| <p>5 重点目標を達成するための校内における組織体制</p>   | <p>・教務部、進路指導部、学年会、各教科の連携・協力体制</p>  |  |
| <p>6 目標の達成に必要な具体的な取組</p> <p>(1) 指導内容の重点化、明確化<br/>                 (2) 基礎学力の定着に向けた独自教材の開発や授業改善の取組<br/>                 (3) 補習・補充授業の充実</p>  | <p>7 達成度の判断・判定基準あるいは指標</p> <p>(1) 授業を理解できる生徒 70%以上<br/>                 (2) 教材開発に取り組む教師 80%以上<br/>                 (3) 募集定員に対しての参加者数 90%以上</p>   |  |
| <p>8 取組状況・実践内容等</p> <p>(1) 毎時間の学習目標の提示により、学ぶ内容を明確にし、授業に対する意欲や関心を高めた。<br/>                 (2) 少人数指導(T.T、習熟度別、選択授業)を実施し、効果的な学習指導に努めた。<br/>                 (3) 年間を通して、補充・補習授業を実施した。<br/>                 (4) 各教科において、基礎学力の定着に向けた教材開発や授業改善に取り組んだ。</p>   | <p>9 評価視点</p> <p>①学習目標の提示、内容の明確化<br/>                 ②学習に対する意欲・関心・態度<br/>                 ③補習・補充参加生徒の学習状況<br/>                 ④教材開発、授業改善の取組</p>  | <p>10 評価</p> <p>(1) (A) B C D<br/>                 (2) (A) B C D<br/>                 (3) A (B) C D<br/>                 (4) (A) B C D</p> |
| <p>11 成果課題</p>  | <p>○授業の始めに、本時の学習目標を示し、生徒が学習内容を前もって理解し、見通しをもって取り組める指導が定着した。<br/>                 ○少人数指導においては、特に「習熟度別授業」において、「学習内容を理解できる」と学習実態調査で回答した生徒の割合が多く、効果が表れている。<br/>                 ▲学習実態調査から、日々の家庭学習に取り組む生徒が少ない状況が明らかになり、家庭での学習習慣を身につけさせる指導が必要である。</p> | <p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>   |
| <p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>(1) 基礎学力の定着に向け、各教科において、独自教材の開発や授業改善に継続して取り組む。<br/>                 (2) 生徒の学力実態を把握するため、各教科で分野別の定着度を分析し、実態に即した授業内容の見直しを適宜行う。<br/>                 (3) 成績上位層の学力伸長や検定合格率向上のために、進路指導部や各教科、学年会とも連携し、効果的な補習授業や個別指導を充実させる。<br/>                 (4) 主体的学習態度の育成のため、学習意欲が高まる工夫と指導を行い、さらに家庭学習の習慣化を図る教材を開発する。<br/>                 (5) 授業規律を徹底し、生徒が自ら学び、集中して授業に取り組める環境を確立する。</p> |  |  |

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年2月16日

### 【意見・要望・評価等】

- ・分割授業では、それぞれの教員の特徴がよく出ている。私語は女子に見られたが、少人数のためか広がりは見られない。授業はよくやっていた。
- ・少人数で丁寧に教えている。英語の授業は発音が良く、自分の頃にあんな授業を受けていたらもっと英語が好きになっていた。
- ・授業における教員の真剣さが伝わってきた。手作りの教材に手間がかかっている。分割されているクラス間で、授業の進度が同じで、しっかり連携が取れている授業であった。
- ・良い意味で授業が成立している。プリント等が机上にあり、整然とした雰囲気での授業が進んでいる。以前はプリントが飛び交うなど、成立していないこともあった。進学校と変わらない授業態度であった。
- ・わかり易い言葉で話されていて、授業を受ける姿勢がさらに良くなっている。また、生徒への呼びかけにも工夫があり、他の学校にはない授業展開である。高校へ入学後、授業がよく分かるようになったという声を聞く。
- ・分割授業の教室で、教科担任によって机列がまちまちである。年度当初に、しっかり指導する必要がある。
- ・学校保健委員会の報告では、授業欠課のシステムが確立され、保健室利用者が減ったと聞いた。

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

|          |   |
|----------|---|
| 1 学校教育目標 | 校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。<br>実践項目 (1) 基礎学力の定着 (2) さわやかな挨拶の励行<br>(3) 部活動の充実 (4) 環境美化の推進 |
|----------|---|

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 2 評価する領域・分野                    | ◇生徒指導  |
| 3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等 | ・いじめや差別を許さず厳しく対応してほしい、という項目について、A+Bの割合が保護者で68%、生徒で75%。それに対して「まったくあてはまらない」については保護者0%と、評価を得ている。早期発見と迅速対応について、大変、理解と協力を頂いていると考える。<br>・高校生としてふさわしい身だしなみ、の項目は、C+Dの割合が保護者で23%と前年度より非常に厳しく、逆に生徒のほうはA+Bが8割近いといったアンバランスを提示している。ここは保護者からの指摘をより重視し、適切な対応を行う必要があると考える。 |
| 4 今年度の具体的かつ明確な重点目標             | ◇基本的生活習慣の確立(2分前行動、遅刻数減少、挨拶の励行)<br>◇問題行動の未然防止<br>◇個に応じた教育相談の充実<br>◇交通安全指導の徹底<br>◇人権意識の深化  |
| 5 重点目標を達成するための校内における組織体制       | 生徒指導部、学年会、担任が連携し、情報の共有と迅速な対応をおこなう。   |

|  |   |
|--|---|
| 6 目標の達成に必要な具体的な取組  | 7 達成度の判断・判定基準あるいは指標   |
| (1) 授業規律の確立(服装、挨拶、遅刻指導等)<br>(2) 問題のある生徒に対するカード指導、ファイル指導、身だしなみ指導の徹底<br>(3) 年間を通した、学校周辺での交通安全指導<br>(4) MSリーダーズ活動の充実<br>(5) いじめ、誹謗、中傷に対する速やかな対応<br>(6) 個に応じた教育相談および巡回教育相談の積極的活用 | (1) 遅刻数の減少、2分前行動の徹底<br>(2) 問題行動数・ファイル指導数、カード指導数の減少<br>(3) 自転車運転マナーの向上、事故件数の減少<br>(4) 自ら挨拶のできる生徒数増加<br>(5) 問題発生に対しての迅速な対応<br>(6) 巡回教育相談の活用回数<br>不登校生徒数・保健室利用常習者の減少 |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 8 取組状況・実践内容等  | 9 評価視点   | 10 評価  |
| (1) 予鈴とともに教室に行き、授業の準備を促す。服装を整えさせ、授業の挨拶を行う。<br>(2) カード指導・ファイル指導および、年8回各行事ごとの身だしなみ指導。<br>(3) 年間を通しての交通安全指導および、生徒・職員による定期的な交通安全指導。<br>(4) MSリーダーズや生徒会等による「ひびきあいの日」およびPTAによる挨拶運動。<br>(5) 生徒理解会議(5月、11月、1月) 迷惑調査等による情報の共有と対応。<br>(6) 教育相談週間(4月、9月)の実施および専門医巡回教育相談(9回)・スクールカウンセラー相談(9回)の実施。 | ①教員、生徒の授業2分前行動<br>授業時の服装指導の状況<br>②問題行動数・ファイル指導数<br>身だしなみ違反数の減少<br>③自転車運転マナーの向上<br>自転車事故件数の減少<br>④自ら、さわやかな挨拶のできる生徒の増加<br>⑤不登校生徒数の減少<br>保健室来室常習者の減少<br>⑥遅刻、欠席者数の減少 | A (B) C D<br>A B (C) D<br>A (B) C D<br>A (B) C D<br>A (B) C D<br>A B (C) D |

|       |  |                   |
|-------|--|-------------------|
| 11 成果 | ○「ひびきあいの日」の活動を通して、挨拶の重要性の認識が定着してきており、登校時や校内での挨拶のできる生徒が増加している。<br>○自転車による交通事故の件数が激減している。<br>●金銭の盗難事件は減ったが、鍵付きロッカーを有効に使用している生徒が少ない。<br>●普段の身だしなみ指導が、行き届いていない。ネクタイ・リボンを着用しない生徒や、スカート丈の短い女子生徒が目立つ。 | 総合評価<br>A B (C) D |
|-------|--|-------------------|

|    |   |  |
|----|---|--|
| 課題 | ●特別指導数は、昨年度より下回っている。1年生より上級生に問題行動が多く見られた。 |  |
|----|---|--|

12 来年度に向けての改善方策案

- (1) 授業規律や身だしなみ等の指導をさらに徹底する。身だしなみ指導の成果が継続できるように、進路指導部や生徒会と連携し、さらに保護者の協力を得られる方策を検討する。
- (2) 問題行動や指導無視に対しては、全職員が共通理解を図り、徹底した指導をおこなう。
- (3) いじめや中傷等に対して、職員間の連絡を密にし、情報を共有してより迅速な対応を図る。
- (4) 職員室入室や授業時のマナー指導、言葉遣い、登校時の遅刻や身だしなみ指導を継続させる。
- (5) 自転車の交通事故を防ぐために、特に1年生の自転車通学者を対象に自転車運転マナー指導を実施し、今以上に安全運転の意識を高める。
- (6) 貴重品の管理のため、鍵付きロッカーの利用を徹底する。

**II 学校関係者評価**

実施年月日：平成29年2月16日

**【意見・要望・評価等】**

- ・服装指導や教育相談への生徒の満足度が上がっているのは、教員の役割分担などを含め、意思疎通が図られているのだろう。生徒も注意されるばかりでは嫌になってしまう。
- ・シャツ出しなどに対する服装指導には、PTAからの働きかけも必要。HP等を活用したり、PTAからも発信したりするとよいのでは。しつけの80%は保護者の責任だと思う。

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

|  |  |   |
|--|--|---|
| 1 学校教育目標   | 校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。<br>実践項目 (1) 基礎学力の定着 (2) さわやかな挨拶の励行 (3) 部活動の充実 (4) 環境美化の推進   |   |
| 2 評価する領域・分野  | ◇進路指導  |   |
| 3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等   | ・本校の進路指導については、保護者及び生徒から概ね肯定的な評価を得ている。特に進路情報の提供については高評価が80%を超えている。進路希望に沿った適切なアドバイスをするということについても高評価が80%前後で、「わからない(評価E)」との回答が昨年と比べ、保護者で約3%、生徒で約6%減少している。特にキャリア教育アドバイザー制度を活用して、企業の求める人材に対する個に応じた進路指導ができています。1, 2年生の保護者及び生徒に対する情報の提供と説明について、さらに充実させる必要がある。  |   |
| 4 今年度の具体的かつ明確な重点目標   | ◇3年間を通じた進路ガイダンスや進路体験学習の充実を図る。<br>◇個に応じた進路選択ができる積極的な進路相談を推進する。<br>◇全職員の共通理解と協力体制のもとでの進路指導の充実を図る。  |   |
| 5 重点目標を達成するための校内における組織体制   | 学年や他の分掌との連携・協力のもと、全校体制で生徒の進路実現へ向かう。  |   |
| 6 目標の達成に必要な具体的な取組  | 7 達成度の判断・判定基準あるいは指標  |   |
| (1) 個に応じた進路指導<br>(2) 進路ガイダンスの充実<br>(3) 進路体験学習の充実<br>(4) 進学補習の充実  | (1) 生徒の進路実現 90%以上<br>(2) 進学補習への参加率 80%以上<br>(3) 進路講話、ガイダンスの取組状況 生徒アンケート<br>(4) 地元企業・施設研修の取組状況 生徒アンケート<br>(5) 特別面接指導での取組状況 外部の意見  |   |
| 8 取組状況・実践内容等   | 9 評価視点   | 10 評価   |
| (1) 個に応じた進路指導<br>・年間を通しての補習、小論文指導、進路相談会<br>(2) 進路ガイダンスの充実<br>・進路ガイダンス 1年12月、2年1月<br>・先輩と語る会 3年6月<br>・3年進路、就職ガイダンス 7、8月<br>・3年特別面接指導 8月<br>・1, 2年生進路講話 11月<br>・3年生の体験報告 1月<br>(3) 進路体験学習<br>・体験学習 1年2月<br>・夏休み進路体験(職場訪問、オープンキャンパス) 2年夏休み<br>・地元企業・施設研修 3年生6月(3日間) | ① 生徒の進路実現<br>② 補習、小論文指導の実施<br>③ 面接指導の実施<br>④ 進路ガイダンス、講話の実施<br>⑤ 進路体験学習の実施  | A (B) C D<br>(A) B C D<br>(A) B C D<br>(A) B C D<br>(A) B C D |
| 11 成果・課題   | ○地元企業・施設研修を通じて、生徒が職業意識を高め、希望に沿った進路先に決定できた。<br>○生徒向けの求人一覧に、過去4年間の内定状況を記載した結果、一層活用しやすいものになった。また担任に企業の求める生徒像の分析を知らせたことが、適切な指導につながった。<br>○就職希望者に対する面接指導では、学校全職員、外部講師、学校関係者(PTA役員、学校評議員、同窓会役員)の協力を得て、充実した実施ができた。<br>○2年生の夏休み進路体験(進路レポート)が充実し、進路意識が高まった。<br>△保護者懇談時の進路相談会や補習など、希望制行事への参加生徒が増加した。<br>●就職の応募書類や進学願書の準備の指導が十分でできなかった。 |   |
| 12   | 来年度に向けての改善方策案  |   |
|  |  | 総合評価<br>(A) B C D   |

- (1) 進路関係の1年間の流れを共有し、前もって生徒への指導ができるようにする。
- (2) 11月の進路講話の内容を再考する。
- (3) 進路相談会、補習についてはさらに充実できるように工夫する。
- (4) 2年生の夏休み進路体験が次年度につながるような仕掛けを考える。
- (5) デュアルシステム実施に向け計画的に準備を進める。

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年2月16日

### 【意見・要望・評価等】

- ・部活の発表もしっかりできており、この取り組みが面接など自分のキャリアに活かされることを、もっと知らせるべきだ。挨拶も同じように社会生活につながる。

I 自己評価

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>1 学校教育目標</p>   | <p>校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会や地域社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。<br/>                 実践項目（1）基礎学力の定着 （2）さわやかな挨拶の励行<br/>                 （3）部活動の充実 （4）環境美化の推進</p>   |   |
| <p>2 評価する領域・分野</p>  | <p>◇家庭・地域との連携</p>   |   |
| <p>3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携に関して「学校の教育方針や指導の内容をわかりやすく伝えている」（70.9%⇒82.4%）、「ホームページ等で様々な情報を伝えている」（84.6%⇒81.6%）、「一斉配信メールサービスは有効に活用されている」（87.0%⇒87.2%）など、高評価を得ており、一昨年度から引き続き好ましい状態にある。一方で「学校からの連絡文書等は、保護者に確実に届けられている」は、（86.2%⇒76.8%）とやや後退し、ホームページやメール配信の活用とは逆の状況が生まれている。しかし、配布物の「『学年通信』を通して主体的に進路を選択し、決定できる能力の育成を図っている」（77.6%）について評価は高い。</li> <li>・地域との連携に関しては、「地域に開かれた学校づくりの取組」（70.0%⇒74.4%）、「学校は地域から期待され、必要とされている」（69.6%⇒70.4%）と大変温かい評価をいただいている。</li> <li>・過去の統計で「わからない」の回答が多かった学習指導の項目については、若干改善されたが、生徒指導、健康管理に関する項目には、まだ多いため、より積極的に情報発信する必要がある。</li> </ul> |   |
| <p>4 今年度の具体的かつ明確な重点目標</p>   | <p>◇家庭や地域との連携の強化<br/>                 ◇地域行事への積極的参加<br/>                 ◇地域への積極的情報発信</p>  |   |
| <p>5 重点目標を達成するための校内における組織体制</p>   | <p>教務部の情報担当を中心に、各分掌、各学年と連携を取り、メール配信やホームページを通じて、情報発信をさらに進めていきたい。</p>   |   |
| <p>6 目標の達成に必要な具体的な取組</p>  | <p>7 達成度の判断・判定基準あるいは指標</p>  |   |
| <p>(1) 学校行事への保護者の参加<br/>                 (2) 各種広報物配信、HPの充実、メール配信<br/>                 (3) 地域行事への参加<br/>                 (4) 学校間交流の実施<br/>                 (5) 販売実習「山高屋台」を通じての地域交流</p>   | <p>(1) PTA総会、行事出席率 30%以上<br/>                 (2) 各種広報物の発行回数、新聞取材回数<br/>                 HPの更新回数月2回以上、外部からの声<br/>                 (3) 地域行事への参加回数、外部からの声<br/>                 (4) 学校間交流の実施回数 年間5回以上<br/>                 (5) 販売地産品目の増加、協力商店の認知度向上</p>  |   |
| <p>8 取組状況・実践内容等</p>   | <p>9 評価視点</p>   | <p>10 評価</p>  |
| <p>(1) PTA総会、芸術鑑賞（PTフォーラム）への保護者の出席、挨拶運動、山高祭バザーへの保護者の協力。<br/>                 (2) 広報の充実（山高だより、山高カレンダー、学年通信、中学校に広報ボード、新聞記事の校内掲示）、メール配信、HPの更新。<br/>                 (3) 川祭りボランティア、地域清掃ボランティア、高齢者との交流、警察との連携活動。<br/>                 (4) 読み聞かせボランティアで保育園、小学校と交流、吹奏楽部が「川祭り」などで演奏活動、科学研究部の小学生理科実験講座。<br/>                 (5) 販売実習「山高屋台」実施 7月、12月</p> | <p>①PTA総会出席率20%、PTフォーラム出席率5%。挨拶運動年6日、山高祭バザー盛況<br/>                 ②学校評価の向上、HPの更新回数減少(42回2月)、新聞取材回数微増、メール配信数増加<br/>                 ③地域ボランティア、施設訪問、警察との連携に積極的に活動<br/>                 ④保育園、小学校、中学校、地域との交流活動を積極的実施(10回以上)<br/>                 ⑤来客数、売上額横ばい(好天に恵まれた)、地域の方の来校</p>  | <p>A B <b>C</b> D<br/>                 A <b>B</b> C D<br/> <b>A</b> B C D<br/> <b>A</b> B C D<br/>                 A <b>B</b> C D</p> |

|          |   |                              |
|----------|---|------------------------------|
| 11 成果・課題 | <p>○一斉配信メールでは台風等による休校などの緊急の連絡は細めに配信しているが、昨年までの学校行事、試験、検定などの連絡に加え、「月間行事予定をHPに掲載しました」というメールも随時配信するように努めた。HPの更新回数は昨年 51 回から今年は 42 回（昨年 4 月から 2 月 1 日まで）とやや減少したが、各種情報を発信した。HPの閲覧者数は<u>1日平均 52 人</u>（平成 25 年 6 月 21 日からの平均）となった。</p> <p>○地域のボランティア活動、介護施設訪問、保育園や小中学校との交流活動、山県市DIGなどに生徒は積極的に参加し、高評価をいただいている。</p> <p>○山高祭バザー、PTA総会、挨拶運動など各種行事に役員の方に、より積極的に参加していただき、行事をスムーズに進めることができた。</p> <p>○近隣の中学校に学校紹介の掲示板（広報ボード）を設置していただき、定期的に更新し学校のPRに努めた。今年度は統合により板取川中となったことから、合計で8校に設置していただいている。また、話題性のある学校行事や活動を実施する場合、新聞社に取材依頼を送り、できるだけ生徒の活躍を新聞に取り上げていただけるよう努力している。（廊下の『山高生の活躍』参照）</p> <p>○学校の魅力化推進のため、地域から様々な面で支援していただく取組「山高MIRAI プロジェクト（学校活性化協議会）」が設置された。デュアルシステム（企業研修）や学科編成、交通アクセスなど、多岐にわたり助言や提言、協力をいただくことになる。</p> <p>●例年のことであるが、PTA総会等の保護者の参加は少ない。<br/>●地域における本校への信頼度はまだまだ低く、地域や保護者に向けて多様な情報をより積極的に発信していく必要がある。</p> | <p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p> |
| 12       | <p>来年度に向けての改善方策案</p> <p>(1) 学校から保護者に文書を配付した場合には一斉配信メールでその旨を知らせ、同時にHPへも掲載するという「文書、メール、HP」のシステムは定着してきておりさらなる充実を図る。HPには、学年通信や月間行事予定も同様のシステムで配信し、効果を挙げている。</p> <p>(2) 地域行事への参加、地域の学校との交流など校外活動に積極的に出かけ、その様子を新聞や地域の広報誌等に記事として取り上げてもらえるよう更に働きかける。地域との連携や開かれた学校づくりの取組を保護者や地域に認知していただき、本校に期待を持ってもらえるよう努めていきたい。</p> <p>(3) 保護者や地域の方々に、学校へ来ていただき、学校の教育活動を理解していただける機会を多く企画する。その1つとして、「山高屋台」を発展させ、地域の理解を深める。</p> <p>(4) 「山県高校の生徒の未来・学校の未来のため、地域とともに魅力と活力ある高校づくりを行う」をスローガンに、「山高MIRAI プロジェクト」の取組が具体的となる。様々な面で支援をお願いすると同時に、今まで以上に生徒を積極的に地域活動に参加させ、連携を深めていくことが必要になる。</p>  |                              |

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年2月16日

|  |
|--|
| <p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の参加人数が少ないことが、非常に気になる。PTA関連行事への出席が少なく、保護者の関心が低いのは残念である。</li> <li>・PTフォーラムの参加率が低く残念である。部活動人数が少なく、これ以降維持できるかが心配される。いろいろ選択できるとよいのだが。</li> <li>・地域との触れ合いは、部活動を含めて高評価である。ただし部員が少ないので、クラス減になってしまうと厳しい。部活動の数を減らすことも必要になるかも。</li> <li>・PTAとして発信しているが、保護者も両極端で、子どもに無関心な保護者も多い。高校生は何でも一人でやっていけると考える保護者がいるのも事実である。PTフォーラムの内容はとても良いので、入学式の時にしっかりと話していきたい。学校のことがわからない保護者ほど、より多く学校へ来てもらいたい。</li> <li>・行事の良さを、来校した保護者からの口コミで広げていく。誘い合わせて来てもらえる方向で。LINEで誘うなど、現実的な方法も考えるといいのでは。</li> <li>・紙ベースの宣伝だけではなく、HPやメール配信などによる、事前の講師紹介もいいのではないかと。</li> </ul> |
|--|